

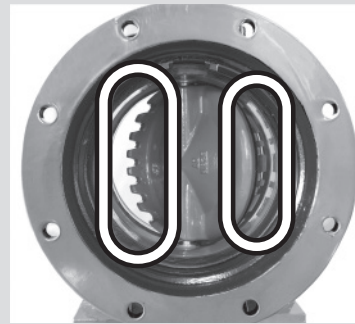
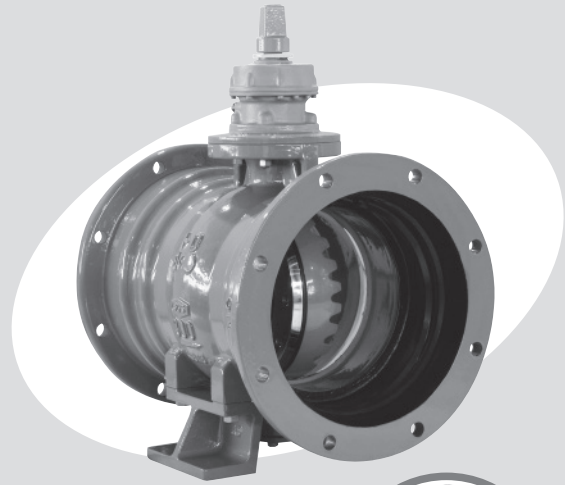
## 清水合金製作所

バタ弁シリーズ  
数珠つなぎ③

大阪営業所 三好 喬大 氏



イチオシ!

耐震形  
充水機能付 NSバタ

充水機能部  
弁翼部の流路が副弁の役割を果たす



開度計と充水機能付目盛を搭載。繊細な流量制御作業が容易に

円滑な初期通水へ工夫満載  
お客様への貢献最優先に

大阪営業所に在籍する三好喬大氏は入社3年目の若手営業マン。昨年度末までの2年間は兵庫県内、今年度からは奈良・和歌山の両県を担当する。水道事業体や管材商社などを中心に足繁く訪問しながら情報収集、セールス、納入製品のアフターサービスまで、幅広く取り組む。

営業活動で日頃から心がけていることは「お客様に寄り添う」と一言。「私自身の業務経験はまだ浅いのですが、経験豊富な営業所の先輩や本社の生産、技術部門とも連携し、日々の業務で困りごとを抱えられているお客様の役に立ちたい」と強調する。

そんな三好氏の営業経験として、強く印象に残っている製品が充水機能付NSバタだ。

同製品は弁箱の継手部にNS形ダクタイル異形管の受口を採用しており、耐震性の高いNS形に管路を統一できる。また、弁体のみを独自形状の充水機能付弁体に変更することで、小開度時に優れた制御性を発揮し、スムーズな初期通水作業が可能となる。GXバタと共通の仕様だ。

充水機能付NSバタの問い合わせを受けた経緯は「担当エリアの水道事業体がφ500のNS形ダクタイル鉄管で送水管の布設替え工事を進めていたのですが、NS形継手の充水機能付バタフライ弁1台を急遽追加する必要に迫られました。工期の制約もあって短期間での納入が必要となり、ご相談頂きました」と振り返る。

三好氏は納期に間に合わせるため、本社の生産部門ともギリギリの調整を行い対応した。イレギュラーな要望にも応えることができた背景には、同社の優れた生産体制と、それを支える職場環境があるという。

「当社はトヨタのかんばん方式をベースに独自の生産体制を



展示会では説明員としてオリジナル製品をPRする

磨き上げ、受注から納品までの各工程における停滞や無駄を徹底的に排除するなど、生産技術と生産体制の高度化に日夜取り組んでいます。今回のNSバタも標準仕様の仕掛品から制作を開始し、最短で納入できるよう部署間で細やかに調整しています。簡単なことにも思えますが、部署間の壁を越え、お客様への貢献が最優先という意識を共有できる職場環境と、具体的な仕組みが整っていることが大前提です。私はこうしたサポートもあって、お客様に全力で向き合うことに集中できています」と胸を張る。

初期通水作業を経験できる機会は一般的に少ないこともあり、納入先の事業体職員も繊細な流量制御が求められるこの作業に苦手意識を持っていたというが、ここにも工夫が。

「操作機に搭載された開度計には、初期通水に最適な管内流速 0.5  $\frac{\text{m}^3}{\text{s}}$  となる弁開度と管内圧力の対応関係が一目でわかる目盛りが表示されています。管内圧力に応じた目盛りに指示部を合わせるだけで、充水に適した流量に調整できる仕組みです」と解説し、「問題なく充水が完了したとお客様から聞いて安心しました。充水機能付弁体は他社製も含め普及はしているものの、依然として苦手だと伺うことが多いのですが、当社製であれば容易に作業できたという声を頂くたびにとても嬉しくなります」と笑顔を見せる。

今後の目標は「社内の先輩方に一步でも近づけるように営業経験を重ね、お客様からより頼られる存在になりたい」と張り切っている。